



Earth Support Corporation

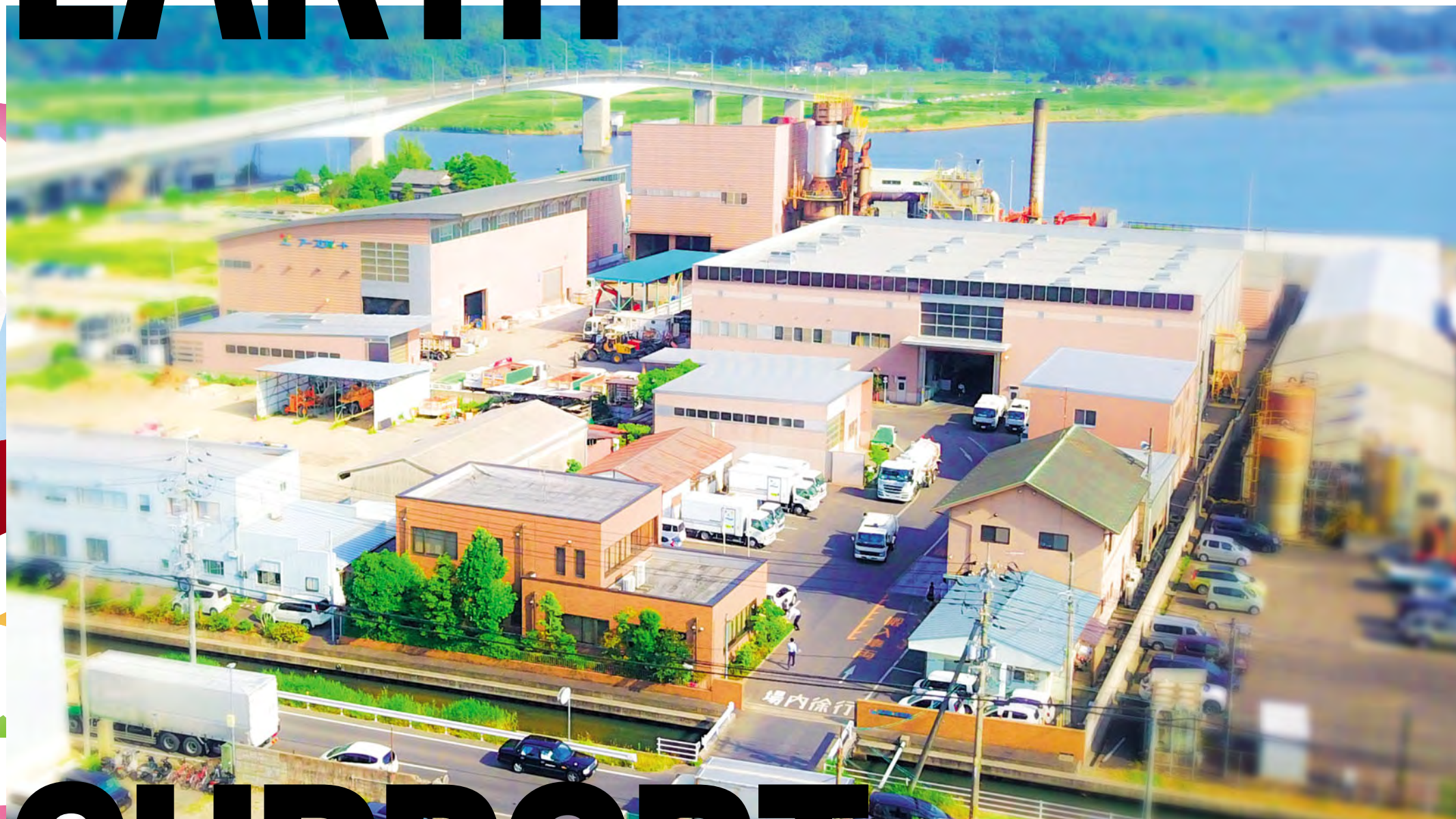
CSR REPORT 2020

C
S
R
R
E
P
O
R
T
2
0
2
0

ア
ー
ス
サ
ポ
ー
ト
株
式
会
社

EARTH

すべてはお客様に
安心して快適な環境を
提供するために。



SUPPORT

CONTENTS もくじ

- 03 会社概要
- 05 トップメッセージ
- 06 トピックス① 新型コロナウイルス対策
- 08 トピックス② 新・選別施設の導入
- 09 マテリアルバランス
- 10 **1 あらゆる人々の活躍の推進**
 - 1 働き方改革を推進する
 - 4 働きがいや能力開発を促進する
 - 5 ジェンダー平等を推進する
 - 8 働きがいや能力開発を促進する
 - 10 人や国の不平等をなくす
- 16 **2 地域活性化**
 - 8 働きがいや能力開発を促進する
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
- 18 **3 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備**
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
- 19 **4 省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会**
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
- 25 **5 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全**
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 14 海の豊かさを守ろう
- 29 編集後記

SDGs (Sustainable Development Goals)

【持続可能な開発目標】

当社はISO26000に対応するCSR活動を行うとともに、国際社会全体の開発目標として2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された17項目の「持続可能な開発目標」の実現に寄与する企業活動に全社を挙げて取り組んでいます。今年度のCSRレポートは、これらの開発目標に関わる当社の取り組みについて、それぞれのマークを記載してご紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



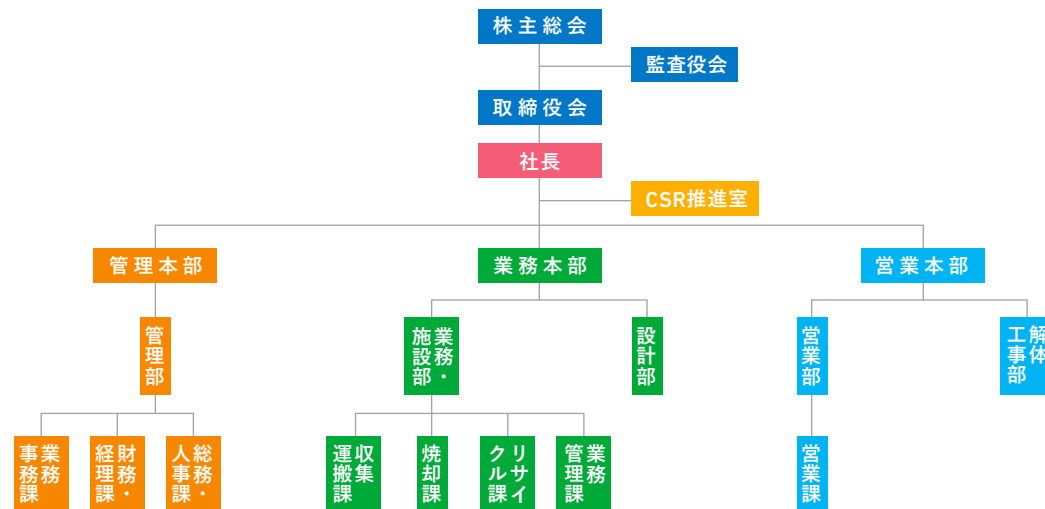
会社概要

対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日

対象組織

名称	アースサポート株式会社	設立	昭和38年2月4日
所在地	島根県松江市八幡町882番地2	資本金	5,000万円
代表者	代表取締役 尾崎 俊也	従業員数	144名(2020年3月31日現在)

組織体制



環境方針

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心で快適な環境を提供する。

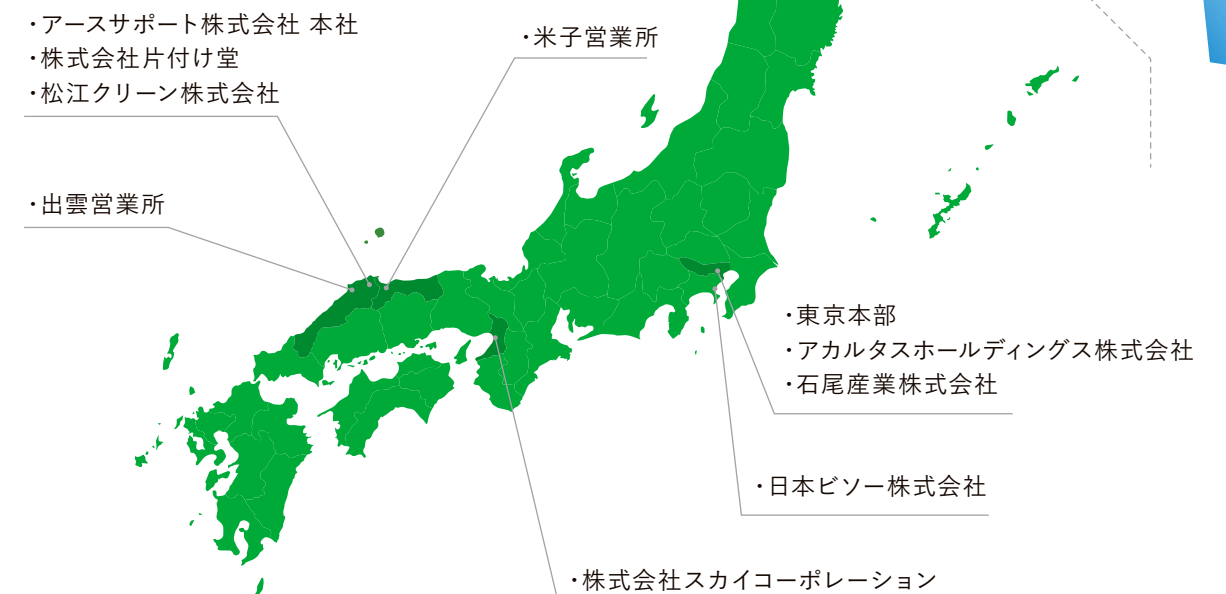
【環境方針】

- ① 環境目標を定め、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な改善活動を行います。
- ② 持続可能な資源の利用を推進するために、省エネルギー、廃棄物のリサイクル及び減容化に努めます。
- ③ 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防及び環境保護に努めます。
- ④ 環境教育・広報活動を通じて、生物多様性を含めた環境保全意識の向上を図ります。
- ⑤ 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- ⑥ 環境方針は、一般に開示します。

平成29年10月1日

代表取締役 尾崎 俊也

グループ会社



関連会社



アカルタスホールディングス株式会社
所在地:東京都港区赤坂4-4-14
未来環境創造ビル3階
代表者:代表取締役 尾崎俊也
事業内容:グループ全体の経営戦略策定



松江クリーン株式会社
所在地:島根県西尾郡町10番地1
代表者:代表取締役 牧野正剛
事業内容:産業廃棄物の最終処分(安定型)



石尾産業株式会社
所在地:東京都八王子市栢田町533番地11
代表者:代表取締役 市村将志
事業内容:一般および産業廃棄物収集運搬



株式会社片付け堂
所在地:島根県松江市西津田3丁目1-12
代表者:代表取締役 坂本貴志
事業内容:不用品回収サービスの
フランチャイズ事業



株式会社スカイコーポレーション
所在地:大阪府大阪市中央区南新町1-2-4
椿本ビル503号
代表者:代表取締役 佐藤哲史
事業内容:プラスチック原材料・製品の仕入
販売及び輸出入



日本ビソー株式会社
NIHON BISOCORPORATION
所在地:神奈川県横浜市神奈川区入江2-18
代表者:代表取締役 市村純一
事業内容:廃棄物の収集運搬

資源循環事業を通じて地球環境の保全に貢献するとともに、
不用品回収事業を全国展開することで
高齢化社会の課題解決に寄与する。
様々な社会問題に対し、事業によってその解決を図る
「ソーシャル・アントレプレナー(社会起業家)」を目指し、
より良い社会の構築のために積極的に活動する。

代表取締役 尾崎俊也



平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、国連サミットで採択されたSDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)の17の目標のうち、弊社が日々の経営に向き合う際に大切にしています様々な活動をまとめた『CSRレポート2020』を発行させていただくにあたり、関係各位に多くのご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

■新型コロナウイルスによる環境変化

新型コロナウイルスの脅威を多くの日本国民が最初に感じたのは2020年2月に発生したダイヤモンドプリンセス号に関する報道からだったのではないのでしょうか。その後、国内でも新型コロナウイルス発症例が増加し、「オーバーシュート」という耳慣れない言葉も報道される中で4月7日には東京都をはじめとする7都府県で緊急事態宣言が発令。同月16日には緊急事態宣言の適用地域が全国に拡大されました。

“3密”を避ける生活様式を取り入れ、弊社でも従業員の体温確認の徹底や事務所入り口でのアルコール消毒、テレワークの積極導入や受付窓口へのアクリルボード設置等の対応を速やかに実施しました。しかし、市民の日常生活や法人の事業活動に伴って発生する廃棄物を適正且つ安全に回収するという私たちの仕事は1日も止めることはできません。「すべてのお客様に安心で快適な環境を提供する」という弊社の経営理念に従い、

どのように新型コロナウイルス感染防止を徹底しながら作業を行うかを現場と協議して、日々の作業を実施しました。特に家庭ごみの収集作業は感染を警戒して行うため神経を使う仕事ですが、市民の皆様がごみ袋に励ましのお言葉や感謝のお手紙を書いてくださり、社員一同たいへん励みになりました。心より御礼申し上げます。

■アカルタスホールディングスの活動

2018年8月に純粋持株会社であるアカルタスホールディングス株式会社を設立し、アースサポート株式会社を含むグループ会社すべてをアカルタスホールディングスの100%子会社としました。アカルタスホールディングスの傘下にある会社は、弊社アースサポート株式会社、石尾産業株式会社(東京23区で事業系一般廃棄物収集運搬業を営んでいます)、株式会社片付け堂(不用品回収事業「片付け堂」の全国フランチャイズ事業)、松江クリーン株式会社(島根県内で安定型最終処分場、解体業を営んでいます)でしたが、2020年2月に株式会社スカイコーポレーション(プラスチックのマテリアルリサイクル商社)、同年6月には日本ビソー株式会社(横浜市および川崎市で事業系一般廃棄物収集運搬業を営んでいます)が新たにグループに参加することになり、合計6つの事業会社が傘下に入る企業集団に成長しました。現在のアカルタスグループの社員数は200名以上、売上規模は40億円弱となっています。

純粋持株会社であるアカルタスホールディングスとグループの中核企業であるアースサポートについては引き続き私が社長として牽引して参りますが、傘下のグループ各社についてはそれぞれ別の社長が就任して経営を担うことで、グループ全体でスピード感のある意思決定や経営の舵取りを行っていきたく考えています。

■持続可能な社会の実現を目指す

弊社は廃棄物・リサイクル事業を行っている会社であるため、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与え得ることを自覚し、責任感のある事業活動を行っていかねばならないと考えています。また、今回の新型コロナウイルスの影響で、家庭から出されるごみ回収事業や医療機関から排出される産業廃棄物の収集運搬・処理事業は社会にとってなくてはならない“エッセンシャルワーカー”という認識が広がり、弊社としても事業を絶対に継続しなければならないという強い責任感と誇りを持って仕事に取り組んでいます。

このような思いを一冊にまとめたものが、今回作成しました『CSRレポート2020』です。私たちはお客様、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかねばならないと考えています。その思いをお客様や社員、地域の皆様と交わした「約束」と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

トピックス① 新型コロナウイルス感染症への取り組み

2019年12月より、中国で発生した新型コロナウイルスにより、日本だけでなく世界的に感染が拡大し、甚大な影響がありました。感染により亡くなられた方に心よりお悔やみ申し上げますとともに、一刻も早い事態の収束を祈るばかりです。

廃棄物処理業者は、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の中で「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者」として位置づけられています。社会インフラの重要な任務を担っている一企業として、当社においても感染拡大防止のため可能な限りの対策を講じました。

<社内環境>

- 出勤時には検温実施及び第3者による確認。体温37.5度以上の場合には、帰宅指示。
- 全職員のマスク着用及び事務所の換気の徹底。事務所の打ち合わせスペースに飛沫感染防止のアクリル板を設置。
- 全職員へマスクの支給。
- 事務職員については積極的にテレワークを実施。
- 会議やミーティングはZoom等を活用して実施。
- 臨時休校が理由で休暇を希望する社員に特別有給休暇(年次有給休暇以外の有給休暇)の付与。
- 廃棄物収集運搬・処理事業に関わる現場職員、事務職員、パート職員、嘱託職員に対し「新型コロナウイルス対策支援金」の支給。



ZOOMによる会議



飛沫感染防止のアクリル板

<当社社員・役員への自粛要請>

- 会社主催の懇親会の自粛。
- 外部で開催されるセミナー、イベント等への参加自粛。
- 遠方への出張を自粛。

< 来社の皆様への対応 >

- 出入口におけるアルコール消毒の設置。
- 受付へ飛沫感染防止の亚克力板の設置。
また、廃棄物持込への事務所対応の際は手袋、ゴーグル（眼鏡）を着用。



< 廃棄物収集作業における対応 >

- 車両消毒の徹底（乗務前・乗務終了後及び車両乗り換え時にハンドルを中心に消毒。医療廃棄物専用車両のアルミバンについては荷室の次亜塩素酸消毒も実施）。
- 収集作業時のマスク・手袋・ゴーグル（眼鏡）の着用。
- 2名乗車の際は運搬車両の運転席と助手席の間に透明パネル・ビニールカーテン等の仕切りを設置。



ビニールカーテンの設置

車両消毒の様子

感謝のメッセージをいただきました

新型コロナウイルス禍の中、ステイホームという自粛生活の影響により、一般家庭から排出される廃棄物は増加し、マスク等感染の恐れがある廃棄物も見受けられるようになりました。しかし、廃棄物は日々排出されます。当社は、ライフラインに関わる企業として、皆様が安心して生活できるよう通常どおりの業務を行っていました。その中で、市民の皆様から排出されるゴミ袋に収集作業員への感謝のメッセージをいただくことが多々ありました。また、メッセージに加え、「少しでも良かったら使ってください」とマスクを添えてくださる方もいらっしゃいました。

家庭から排出される廃棄物が増えたことで、回収に以前より時間がかかるようになりました。廃棄物にウイルスが付着している恐れもあり、収集作業員は、日々リスクと隣り合わせで気を使いながら作業を行っていました。そのような状況で、こういった温かいお言葉をいただいたことは、作業員にとって大きな励みになりました。私たちの仕事が地域を支える重要な仕事だという認識の下、これからもより一層責任感をもって業務に取り組んでいく所存です。



トピックス②
新・選別施設の導入

2020年3月に事業系の混合廃棄物の選別施設の更新を行いました。オートメーション化した最新の選別施設となっております。

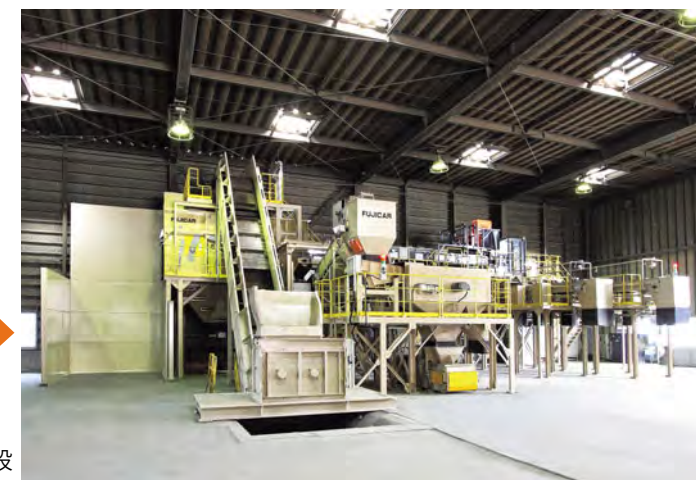
破袋機に投入された廃棄物は、破袋後、振動傾斜を利用したバリスティックセパレーターにより、軽量物と重量物に自動選別されます。その後、磁力選別機、非鉄選別機によりスチール缶とアルミ缶を選別します。最後に光学選別機で、プラスチックの素材を事前に認識させ、赤外線でRPF原料となるものを自動で選別します。RPF原料以外のガラス瓶などは、作業員によりさらに選別した後、リサイクルを行います。

これまで作業員が目視により選別していたため精度や効率が不安定だった選別作業が機械化することで安定化し、リサイクル可能な品目の回収率がアップしました。

本施設は、島根県の「令和元年度産業廃棄物3R推進施設等整備費補助事業」に採択されました。



以前の選別施設



新・選別施設



バリスティックセパレーター



光学選別機

マテリアルバランス



2019年4月～2020年3月までの実績

1 あらゆる人々の活躍の推進

[持続可能な開発目標]



(1) 奨学金返済支援手当の支給

近年、大学等への進学率上昇や景気低迷などの社会情勢の反映の結果、奨学金の貸与規模は年々拡大傾向にあります。そのような情勢を鑑み、次の世代の担い手に伸び伸び成長してもらう環境を整えることが、企業の未来を支えることと考え、少しでも若い社員の力になりたく、「奨学金返済支援手当」の支給をスタートさせることにしました。新卒入社・中途入社関係なく、正社員・パートタイマーすべての方が対象となり、月額15,000円を上限として、退職又は、返済が完了するまで支給します。

(2) 時間単位有給の導入

1時間単位で有給休暇の取得が行える制度を導入しています。時間有給の取得率76%と、非常に多くの社員が利用しています。

(3) 短時間勤務制度の延長

育児・介護休業法により、3歳に満たない子を育てている場合、原則1日6時間の短時間勤務ができる制度を定めるよう、義務付けられています。当社では、この制度を利用できる子の年齢を「小学校3年生まで」と延長し、幼少期の子供と触れ合う時間を多くとれるような環境づくりを行っています。

(4) 看護休暇日数の増加と有給

育児・介護休業法により、子どもの病気やケガなど看護が必要なときに利用できる休暇として看護休暇の制度を定めるよう、義務付けられています。子の看護休暇は「小学校就学の始期に達するまで」とされ、取得可能な日数は、1年度において5日（子が2人以上の場合は10日）です。当社は、これを7日（子が2人以上の場合は14日）としています。また、有給か無給かは会社を選択肢が委ねられていますが、当社ではすべて有給で、半日単位で利用しています。

(5) 介護休暇

育児・介護休業法により、両親や身内などの家族が病気や怪我、高齢といった理由で要介護状態になった場合、介護・世話をする労働者に対して、与えられる休暇制度を定めるよう義務付けられています。取得可能な日数は、1年度において5日（対象家族が2人以上の場合は10日）です。当社は、これを7日（対象家族が2人以上の場合は14日）としています。また、有給か無給かは会社を選択肢が委ねられていますが、当社ではすべて有給で、半日単位で利用しています。

(6) 女性活躍の推進

<女性採用率>

	男(人)	女(人)	合計(人)	女性採用率(昨対比)
取締役	5	1	6	17%(↑17%)
現場職	82	7	89	8%(↑1%)
事務職	21	32	53	60%(↑6%)
合計	108	40	148	27%(↑1%)

<勤続年数男女差>

	男(年)	女(年)	昨対比 男(年)	昨対比 女(年)
現場職	8.5	1.1	8.2(↑0.3年)	1.8(↓0.7年)
事務職	7.5	5.5	6(↑1.5年)	4.6(↓0.9年)※

※昨年、男性事務職2名、女性事務職1名が取締役就任により上記数字より対象外となったため、昨対比数字が減少

<役職者の女性労働者の割合>

	男(人)	女(人)	女性役職率
現場職	18/82	0/7	0%
事務職	15/21	14/32	44%

<指導的地位に占める女性の割合>

	男(人)	女(人)	指導的地位に占める女性の割合
課長以上の役職者	9	2	22%

知識と経験を兼ね備えた優秀な女性社員が結婚・出産ということだけで退職をせざるを得ないようなことにならないようしっかりとフォローできるような組織作りは、社会的にも、そして当社が今後、より成長していくためにも非常に重要なことだと感じています。

指導的地位に占める女性の割合は、目標数値である30%には届いていませんが、次期管理職候補の育成を行っています。

(7) 家族見学会の開催

社員のご家族を会社にご招待し、当社が行っている事業や環境活動を知っていただく機会として家族見学会を開催しています。17回目となる見学会を2019年7月15日に開催し、家族数8組、30人の皆様に参加いただきました。当日は、会社の概要について説明後、クイズやゲームをしながら施設の見学を行いました。毎年、小さなお子さんの参加も多く、特に重機や各種収集車両への乗車や記念撮影が人気でした。普段なかなか目にすることのできない仕事姿や風景に触れていただき、また毎年恒例となっている社員からご家族に向けたメッセージビデオの上映もあり、感動に包まれた会となりました。



(8) 事業報告会の開催

当社では全社員が集まる事業報告会を年2回開催しています。社長から今後の方向性や会社のビジョンを説明し、その後、各部署長から目標の達成状況を発表します。12月に行われる発表会では、前年度に会社への貢献度が高く先進的な取り組みを行った事業に対して年間MVP賞を授与します。MVPは、事前に社員が自ら経営幹部にプレゼンテーションを行い、その結果がこの発表会で行われます。そのほか、「ムードメーカーで賞」「プロフェッショナルで賞」など、個人賞も発表されます。勤務時間や勤務場所が異なる社員同士が顔を合わせ、他部署の発表内容を聞くことでコミュニケーションを円滑に図ることができる貴重な機会となっています。



(9) 報奨制度

あらゆる表彰制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。

お褒めの言葉賞	お客様からお褒めいただいた職員への報奨
A重油 ランキング賞	焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員への報奨
収集ドライバー チーム対抗戦	収集運搬を行うドライバーを4チームに分配し、チーム対抗で次の項目をポイント制で競い、1位のチームメンバーへ報奨 <安全運転・身だしなみ・事故・車両点検など>
年間MVP・アースサポーター賞 グッドジョブ賞	1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取り組みを行った職員またはチームへの報奨
部門賞	1年間、各部署ごとで投票により選出された功労者に贈られる報奨 <例：新人賞…入社2年以内の職員が対象>



(10) レクリエーション

2019年の社員旅行は、9月28、29日の2日間、四国へ行きました。参加者は各部署から37名でした。他部署との交流も深まる楽しい旅行になりました。

また、定期的に社内報を発行し、新入社員の紹介やCSR活動の紹介など行っています。

1月には、昨年1年間にあった出来事をまとめた10大ニュース新聞を発行しています。



(11) 健康診断項目の拡張

労働安全衛生法に基づき、社員の健康診断を年1回行っています。健康診断の項目について、35歳以上の社員には胃の検査をオプションとして追加しており、35歳以上の女性職員には、希望者に子宮頸がん検診・乳がん検診を受診していただいています。



(12) 研修と資格

廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）によりさまざまな種類に分類されますが、見た目だけではなく、廃棄物の排出工程によって種類が変わる複雑な分野です。また、廃棄物の性状も様々で、処理に当たって知識や技術が要求されます。当社では、廃棄物のプロとして、お客様の“困った”を迅速にかつ適正に解決できるよう、研修を行っています。ISO14001の環境マネジメントシステムに準じて、新入社員に対しては、各部署からの講義や現場体験を行っています。資格については、業務に必要な資格はもちろん、会社が推奨する資格は受講料を会社で負担し、社員のスキルアップを図っています。



●資格者リスト

	人数		人数
1級土木施工管理技士	1	酸欠危険作業特別教育修了者	2
2級土木施工管理技士	1	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	8
5トン限定準中型免許	17	自由研削用といしの取替え等業務に係る特別教育	6
8トン限定中型免許	64	車両系建設機械(解体用)運転技能講習修了者	17
KYTトレーナー	4	車両系建設機械(解体用)運転技能特別講習修了者	15
アーク溶接等業務特別教育修了者	19	車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習修了者	32
ガス溶接技能講習修了者	15	車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用)運転業務従事者安全衛生教育修了書	2
クレーン運転の業務の特別教育	2	準中型免許	4
クレーン運転の業務の特別教育修了者	9	小型移動式クレーン運転業務技能講習修了者	19
ごみ処理施設技術管理士	2	小型移動式クレーン運転業務特別教育修了者	8
はい作業主任者	3	小型車両系建設機械(整地等)の運転特別教育修了者	22
フォークリフト運転技能講習修了者	42	床上操作式クレーン運転業務技能講習修了者	1
フルハーネス型墜落制止用器具使用作業特別教育	24	床上操作式クレーン運転業務特別教育修了者	14
安全管理者選任時研修者	1	職長・安全衛生責任者教育修了者	12
一般廃棄物収集運搬・処分業者講習修了者	1	職長・安全衛生責任者教育終了者	1
運行管理者	1	振動工具取扱作業車安全衛生教育修了者	1
応急手当普及員認定書	1	石綿使用建築物等解体特別教育修了者	2
下水道排水設備工事責任技術者	1	石綿取扱い作業従事者特別教育修了者	3
化学物質管理者	1	足場組立て等作業主任者技能講習修了者	2
解体工事施工技士	1	足場組立て等特別教育修了者	3
環境管理士	1	第3種電気主任技師	1
環境計量士(濃度関係)	1	第一種衛生管理者	1
危険物(乙)1種	2	宅地建物取引士	1
危険物(乙)2種	2	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	2
危険物(乙)3種	2	中型免許	17
危険物(乙)4種	8	低圧電気取扱業務特別教育	5
危険物(乙)5種	2	特別管理産業廃棄物管理責任者	1
危険物(乙)6種	1	毒劇物取扱責任者	1
危険物(丙)	1	二級ボイラー技士	1
給水装置工事主任技術者	1	破碎・リサイクル施設技術管理士	1
玉掛業務技能講習修了者	23	廃棄物焼却施設におけるダイオキシン類対策に係る作業指揮者養成研修修了者	1
玉掛業務特別教育修了者	11	廃棄物焼却施設に関する業務特別教育修了者	3
型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習	1	不整地運搬車運転技能講習	1
研削といしの取替え又試運転の業務特別教育修了者	8	普通救命講習修了者	9
雇入れ時安全衛生教育	1	普通免許	3
高所作業車運転技能講習修了者(10m以上)修了者	6	粉じん作業特別教育修了者	2
高所作業車特別教育修了者(10m未満)修了者	8	有機溶剤作業主任者	2
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可に関する講習会終了者	1	労働安全衛生法による特別教育修了者	1
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集処分業の許可に関する講習会終了者	1	大型自動車免許	31
産業廃棄物焼却施設技術管理者	3		

(13) アースサポート社員ルールブックの配布

昨年より、就業規則や賃金規程等を社員はいつでも確認ができるよう、「ルールBOOK」を個人に配布しています。通勤車両の変更申請や、出産や育児に関する事等、社員の皆さんに分かりやすい内容となっています。また、配布だけでなくネットでも確認できるようにしています。



項目	ページ
勤務時間に関するルール	3
休日に関するルール	4
有給休暇に関するルール	5
時間外労働(残業)に関するルール	6
社会保険制度について	7
出産・育児に関する事	8
仕事以外で病気やケガをしたら?	10
退職に関する事	11
給付に関する事	12
パワハラ・セクハラ・マタハラのない職場	13
禁止事項について	14
健康管理に関する事	15
社用車に関する事	17
基幹業務システム(環境特約)について	18
就業規則	19
賃金規程	45
育児・介護休業等に関する規程	66
安全衛生管理規程	80

(14) 「まつえ男女共同参画推進宣言企業」として認定

松江市では、男女共同参画推進の具体的な取り組みを宣言する企業等を募集し、「まつえ男女共同参画推進宣言企業」として認定して、広報や各種情報の提供等によりその取り組みを支援するとともに、取組事例を広く市民等に紹介しています。当社も、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進の取り組みと男女が共に働きやすい職場環境づくりに取組み、認定を受けています。



(15) 新卒採用活動

人手不足は全国的にも大きな社会問題となっています。当社では、毎年新卒の採用活動に力を入れており、継続的に新卒の学生を採用しています。インターンシップの導入や面接時の送迎など、学生に寄り添った採用活動に注力しています。

2019年度
インターンシップ
受け入れ実績

2019年8月27～29日(3DAY)	2名
2019年9月4日(1DAY)	4名
2019年9月9～13日(5DAY)	3名
合計	9名





2 地域活性化

[持続可能な開発目標]



(16) 労働安全への取り組み

産業廃棄物処理業における労働災害の発生率は、他の産業に比べ高いと言われています。当社では、すべての社員が安心・安全で働ける職場環境を維持管理し、無事故・無災害に努めています。

安全衛生基本理念・基本方針

■安全衛生基本理念
私たちアースサポート株式会社は事故や労働災害の防止の為に技能向上への意欲とルールを守る心、仲間を守る心、危険を感じる心を育て、健康を守るために強い意志をもって継続的に疾病予防と健康被害防止に取り組みます。

■安全衛生基本方針
一人ひとりの安全と健康を守るため、全員が、積極的に安全衛生活動を推進します。

1. 法令、安全衛生管理規定、作業手順、ルールを順守します。
2. 活動的な安全衛生管理体制をとり、効果的な安全衛生管理計画を立てます。
3. 事故や労働災害防止・作業効率向上のため、法令やルール・作業手順・意識向上の知識教育や、作業と運転操作の良い習慣を身に付けるための技能訓練を実施します。
4. 作業環境を整え安全で効率的な作業を行います。
5. 法令やルール違反、事故や労働災害に直結する作業方法や状態を検査するために安全衛生パトロールを実施します。
6. 作業環境における危険有害を低減するために、建物、設備、車両、資機材、勤務体制などの調査を行い対策を講じます。
7. 病状、業効、体調不良によって影響する業務中の事故や労働災害を防ぐための措置を講じます。
8. 危険有害な情報を関係者に伝えて守る。また情報や活動記録を保管し将来に役立てます。

2019年10月1日
アースサポート株式会社
代表取締役 尾崎 俊也

①安全大会の開催

年1回、事業報告会で全社員が集うため、報告会の後に「安全大会」を実施しています。目的としては、安全に対する意識向上と職場の安全活動の推進等であり、毎回外部の講師を招き、受講しています。



②安全パトロールの実施

毎月1回、現場の各担当者（焼却炉、その他の施設、収集運搬、安全衛生管理者）が場内を回り、安全面で問題ないかをチェックし、指摘事項は管轄部署が改善後写真等により報告するルールになっています。自部署では気付きにくい盲点をお互いに指摘しあうことで、より具体的な安全対策をとることができます。



安全パトロールの様子

リスク改善事例			
リスク管理台帳			
指摘日時（パトロール実施日時）	現場	作業	
2020年1月9日	選別機	選別運行	
改善前		危険性又は有害性 風力選別機の軽量物シューターの開口部が開いている、足を踏み外して転ぶ可能性がある。	
2020年1月9日		リスク低減措置 鉄網板を設置し、踏み外ししないようにした。	
		可能性	重大性
		×	○
		評価	危険度
		×○	3
		改善後	
2020年1月9日		可能性	重大性
		△	○
		評価	危険度
		△○	2

(1) 地元小学校への図書寄贈

2004年から始めた竹矢小学校への図書寄贈も今年で15回目となりました。「4月から必須科目となるプログラミングの授業用にプログラミングに関する本を買わせていただきました。図書に充てられる予算が少ないのでありがたいです。」というお言葉をいただきました。毎年継続して行うことの大切さ、小学校を含めた地域への活動の大切さを改めて実感することができました。長い期間ずっと続けられる地域貢献活動を今後も行っていきたいと考えています。

●寄贈図書リスト

図書リスト		
1	未来のためのSDGs 全4巻	文溪堂
2	ポリぶくろ、1まい、すてた	さ・え・ら書房
3	やさしく解説 地球温暖化 全3巻	岩崎書店
4	わたしたちの地球環境と天然資源 ①水	新日本出版社
5	「できごと」と「くらし」から知る戦争の46か月	学研プラス
6	これがきっかけ！ノーベル賞ずかん	ほるぷ出版
7	今こそ知りたい！三権分立 全3巻	あすなる書房
8	6この点（ジェン・ブライアント作）	岩崎書店
9	オリンピック・パラリンピック大百科 全8巻	小峰書店
10	都道府県ふるさとじまん図鑑	学研プラス
11	昔話法廷シリーズ 全3巻	金の星社
12	はじめてのプログラミング 全3巻	汐文社
13	読書がたくましい脳をつくる	くもん出版
14	人工知能と友だちになれる？	誠文堂新光社
15	プログラミングで何ができる？	誠文堂新光社
16	ぼくらの一日校長	角川つばさ文庫



目録贈呈の様子



寄贈した図書

3 持続可能で強靱な国土と 質の高いインフラの整備

【持続可能な開発目標】



(2) 地元見学会

2000年8月に竹矢地区自治協会様をはじめとする8団体様と「環境に関する協定」を締結させていただき、それ以降行っている見学会も27回目を迎えることができました。これも地元自治会様はじめ、松江市廃棄物対策課様ほか関係各位の皆様のお力添えのお陰と感謝致しております。7月15日に行った見学会では、これまでの当社の取り組みや新施設導入について説明後、工場内の見学をしていただきました。

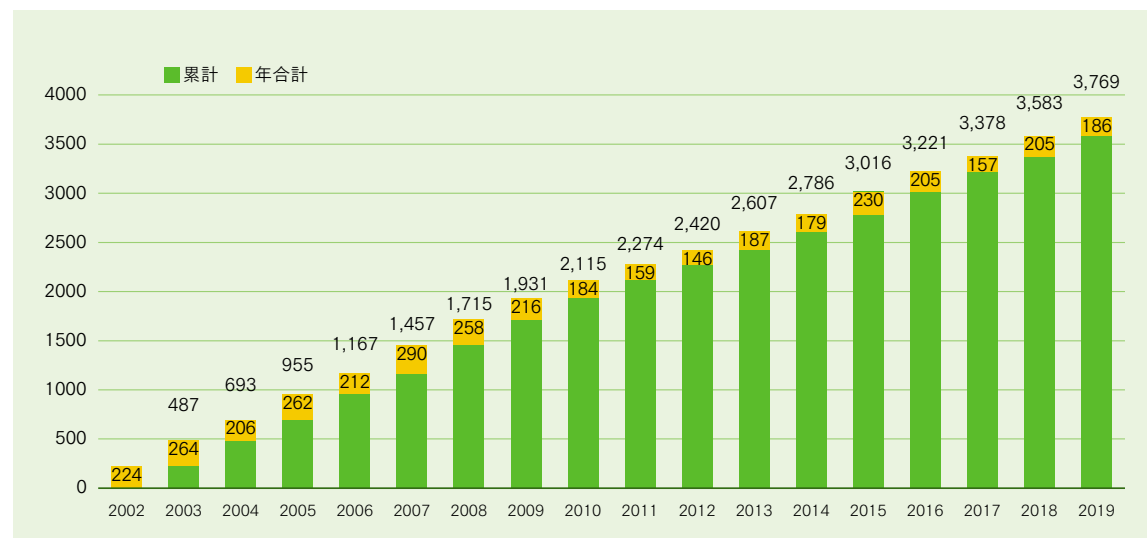
当社では「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社作りをする」という経営理念を掲げており、今後も見学会やCSR報告書等を通して、徹底した情報公開、更なるリサイクルの推進、地域の環境活動へ積極的に参加してまいります。



(3) 廃食油リサイクル

地元自治会様の各家庭から排出される廃食油を回収し、軽油代替燃料（バイオディーゼル燃料）にリサイクルする事業を2002年10月より進めています。リサイクルした燃料は、当社の重機や場内の燃料として利用しています。地域の皆様のご協力により、2019年度は186リットル、累計で3,769リットルの廃食油をリサイクルさせていただきました。

廃食油回収量



(1) 片付け堂

引っ越しや大掃除、遺品整理などでは、一度に粗大ごみ・廃家電などのごみが多量に出ることがあります。インターネットや広告などで、家庭からのごみの回収について、無料回収と宣伝している不用品回収業者に引き取りを依頼したところ、高額な料金を請求された等のトラブルに巻き込まれる被害が多発しています。不用品回収業者は、管轄行政から許可を受けた業者でなければ引取りすることはできません。

当社は、個人向け不用品回収サービス「(ごみのコンビニ) 片付け堂」のフランチャイズ本部として、許可を持っているというだけでなく、制服・手袋・靴下の着用、マニュアルの徹底など、お客様に安心してサービスを利用していただけよう努めています。

このサービスを地元地域だけでなく、全国のお客様へ提供しているのがグループ会社の「株式会社片付け堂」です。株式会社片付け堂では、事業のフランチャイズ (FC) 展開をしており、法令順守の観点から、各地域の一般廃棄物の収集運搬業の許可を持っている企業を募り、安心してお任せいただけるサービスを全国に提供しています。また、不用品を買取り、リユースする「買取り堂」というショップも運営し、グループとして環境にもやさしい事業を行っています。

片付け堂作業スタッフより



「片付け堂に頼んでよかった」と思っていたくれるよう身だしなみや言葉遣いに気をつけることはもちろん、定期的な研修により作業技術の向上も図っています。作業は思っている以上に体力を使い、大変なことも多いですが、お客様から感謝の言葉をいただくことも多々あり、励みになっています。これからも不用品回収のプロとして、信頼いただける対応を心がけていきます。

(2) 災害廃棄物の受入

大規模な地震や水害等の災害が毎年のように発生している中、被災地の復旧・復興の妨げになるのが、「災害廃棄物」です。災害廃棄物は、処理を進めなければ復旧・復興が遅れるだけでなく、衛生上の問題も発生します。

2019年8月に発生した九州北部豪雨の影響で、佐賀県では浸水による油流出事故が発生しました。遠方ではありますが、当社も災害廃棄物の受入を積極的に行い、被災地の迅速な復旧・復興に向けて積極的に協力をしました。



(3) 防災訓練と消火訓練

年に1回、避難訓練を実施しています。10月に実施した避難訓練では、焼却棟での火災を想定し、現場からの事務所への無線連絡、119番通報、安全な場所への避難等、火災発生時に備えての対応を確認しました。



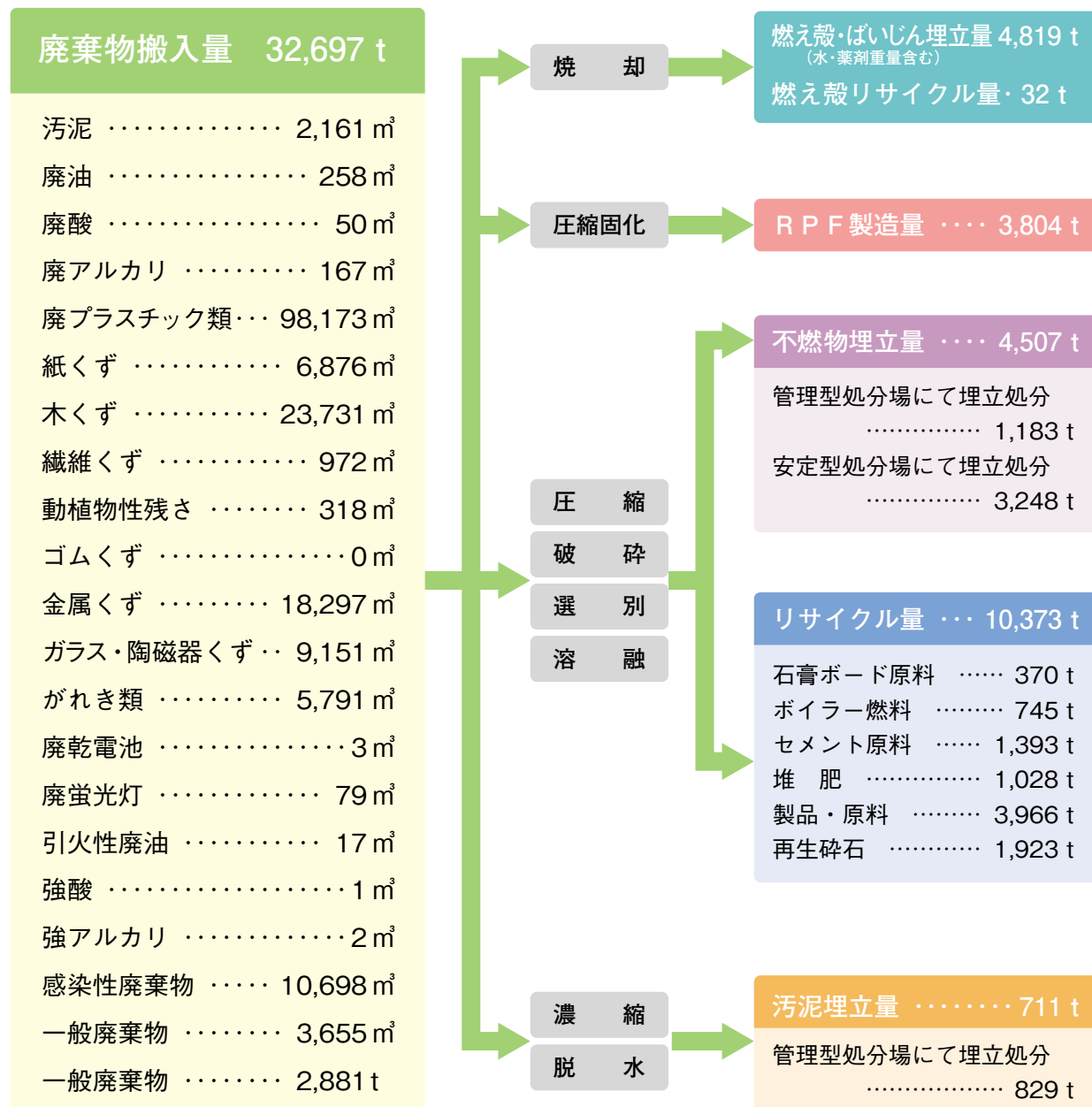
4 省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会

[持続可能な開発目標]



(1) リサイクルの推進

当社は受入した廃棄物を適正に処理するだけでなく、可能な限りリサイクルしています。選別を徹底することで有用な資源を回収するだけでなく、再生利用製品の新規ルートを開拓し、最終処分場への埋立量を削減するよう努力しています。



(2) 環境データ

●リサイクル率

	最終処分率	リサイクル率
汚泥	100%	0%
廃油	100%	0%
廃酸	100%	0%
廃アルカリ	100%	0%
プラ	35%	65%
紙くず	19%	81%
木くず	33%	67%
繊維	56%	44%
動植	100%	0%

	最終処分率	リサイクル率
金属	2%	98%
ガラス	70%	30%
がれき	83%	17%
蛍光灯・乾電池	94%	6%
特別管理産業廃棄物	100%	0%
一般廃棄物	0%	100%
全体	35%	65%

H31.4.1 ~ R2.3.31 までの実績

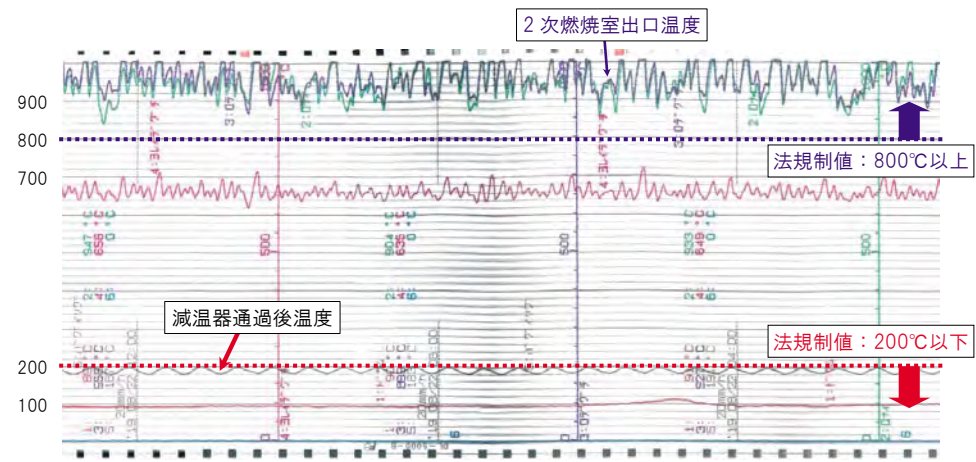
●排ガス測定結果

測定項目	測定値		法規制値	単位
	R1.5.30	R1.11.20		
ダイオキシン類	0.190	0.210	1	ng-TEQ/Nm ³
塩化水素	84	7.2	700	mg/Nm ³
ばいじん	0.008	0.002	0.08	g/Nm ³
硫黄酸化物	0.930	0.014 未満	25.0 30.2	Nm ³ /h
窒素酸化物	86	140	250	ppm

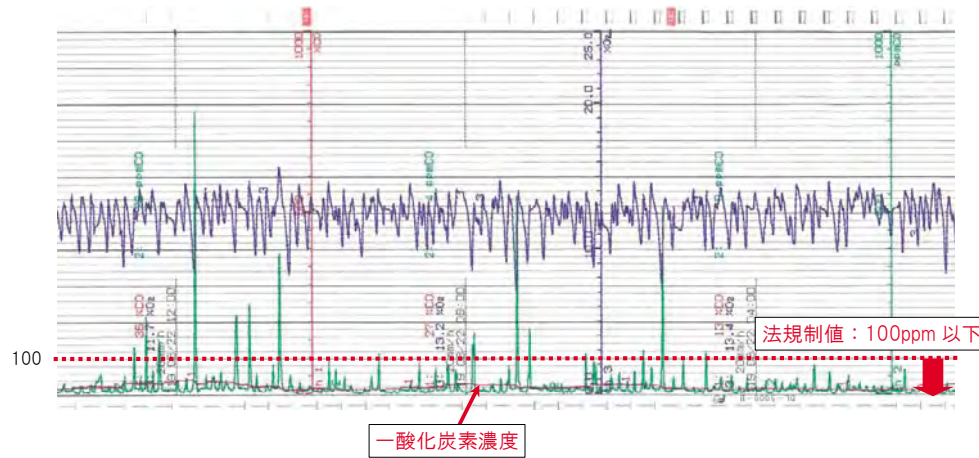
●燃え殻の分析結果

測定項目	測定値	法規制値	単位
	R1.11.20		
ダイオキシン類	0.79	3	ng-TEQ/Nm ³
カドミウム又はその化合物	不検出	≦ 0.09	mg/㍑
鉛またはその化合物	不検出	≦ 0.3	mg/㍑
六価クロム化合物	不検出	≦ 1.5	mg/㍑
砒素又はその化合物	不検出	≦ 0.3	mg/㍑
水銀又はその化合物	不検出	検出されないこと	mg/㍑
セレン又はその化合物	不検出	≦ 0.3	mg/㍑
P C B	不検出	≦ 0.003	mg/㍑
1,4-ジオキサン	不検出	≦ 0.5	mg/㍑

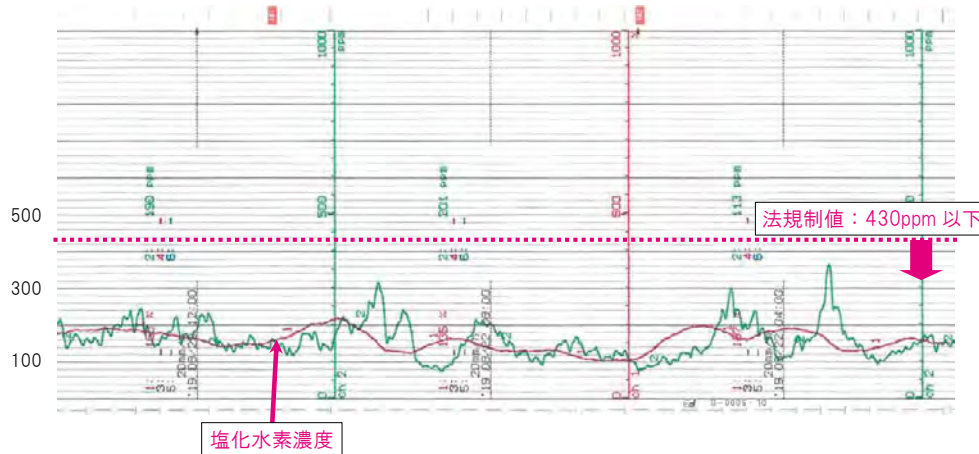
●焼却炉温度チャート



●焼却炉一酸化炭素濃度チャート



●焼却炉塩化水素濃度チャート



(2) 環境データ

●排水分析結果

測定項目	測定値		法規制値	単位
	R1.10.1	R2.1.22		
ダイオキシン類	0.12	0.035	1	ng-TEQ/Nm ³

測定項目	測定値	法規制値	単位
	R1.10.1		
カドミウム化合物	N.D.	≦ 0.03	mg/l _日
シアン化合物	N.D.	≦ 1	mg/l _日
有機燐化合物	N.D.	≦ 1	mg/l _日
鉛又はその化合物	N.D.	≦ 0.1	mg/l _日
六価クロム化合物	N.D.	≦ 0.5	mg/l _日
砒素及びその化合物	N.D.	≦ 0.1	mg/l _日
水銀又はその化合物	N.D.	≦ 0.005	mg/l _日
アルキル水銀化合物	N.D.	検出されないこと	mg/l _日
P C B	N.D.	≦ 0.003	mg/l _日
トリクロロエチレン	N.D.	≦ 0.1	mg/l _日
テトラクロロエチレン	N.D.	≦ 0.1	mg/l _日
ジクロロメタン	N.D.	≦ 0.2	mg/l _日
四塩化炭素	N.D.	≦ 0.02	mg/l _日
1,2-ジクロロエタン	N.D.	≦ 0.04	mg/l _日
1,1-ジクロロエチレン	N.D.	≦ 0.2	mg/l _日
1,2-ジクロロエチレン	N.D.	≦ 0.4	mg/l _日
1,1,1-トリクロロエタン	N.D.	≦ 3	mg/l _日
1,1,2-トリクロロエタン	N.D.	≦ 0.06	mg/l _日
1,3-ジクロロプロペン	N.D.	≦ 0.02	mg/l _日
チウラム	N.D.	≦ 0.06	mg/l _日
シマジン	N.D.	≦ 0.03	mg/l _日
チオベンカルブ	N.D.	≦ 0.2	mg/l _日
ベンゼン	N.D.	≦ 0.1	mg/l _日
セレン及びその化合物	N.D.	≦ 0.1	mg/l _日
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物、硝酸化合物	0.2	≦ 100	mg/l _日
ふっ素及びその化合物	N.D.	≦ 8	mg/l _日
ほう素化合物	N.D.	≦ 15	mg/l _日
1,4-ジオキサン	N.D.	≦ 0.5	mg/l _日

(3) 焼却炉定期検査

2011年4月1日施行の改正廃掃法において、廃棄物処理施設（最終処分及び焼却など）の行政による定期検査が義務付けられました。

当社の廃棄物焼却施設は検査の対象となり、2014年5月に第1回目の定期検査を受け、指摘事項はありませんでした。このたび、2019年9月3日、第2回目の定期検査がありました。排ガス、排水等の測定結果・メンテナンス表・チャート紙の確認や、施設の現地確認、質疑応答等の検査を受けました。

検査の結果、指摘事項は無く、法律上の構造基準に適合していると認められました。



(4) ISO14001による環境マネジメントシステムの推進

2001年3月30日にISO14001を認証取得し、環境マネジメントシステムを運用しています。

今年、2020年1月22日から1月24日の3日間にかけて更新審査が行われ、各部署の担当者を中心に審査機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査員の方の審査を受けました。

今回の審査においても重大な不適合事項（改善指摘事項カテゴリA）や軽微な不適合（改善指摘事項カテゴリB）はなく環境マネジメントシステムが継続して維持されているとのご判断をいただきました。審査員の方からは、業務プロセス改善活動を環境マネジメントシステムと融合した活動展開や地域社会への貢献に向けた取り組みについて評価をいただきました。環境マネジメントシステムのさらなる改善に向け、課題も指摘していただいています。

ISO14001の認証取得から20年近くが経過し、全社員にISO・環境への配慮が定着してきています。より実務と一体となったマネジメントシステムの推進のため今後も更なる進展を図ってまいります。



審査の様子

(5) 事務所ごみのリサイクルの推進

当社では、事務所や現場休憩室から出る廃棄物について、分別を徹底して可能な限りリサイクルを行っています。毎年70%を超えるリサイクル率を維持しており、2019年度においては排出量3,155kg、リサイクル率74%でした。

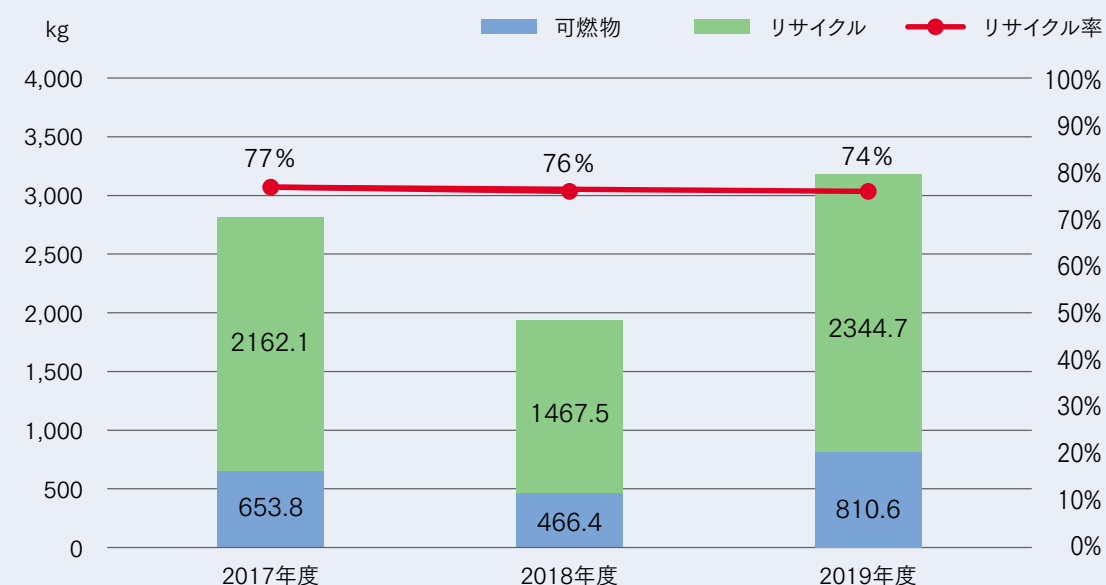
今後も継続してリサイクル率向上を目指していきます。

●分別品目

（②から⑥はリサイクル）

- ①可燃物
- ②RPF用プラスチック（ビニール、ペットボトル、弁当がらなど）
- ③RPF用紙くず・木くず（割りばし、紙製容器など）
- ④古紙（封筒、カタログ、機密以外の書類）・ダンボール
- ⑤機密書類（顧客名、金額、個人情報などが記載された書類）
- ⑥缶・ビン・金属

事務所ごみのリサイクル率



5 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

[持続可能な開発目標]



(1) 海洋ごみ問題

海は世界中につながっており、海に流れ着く漂流・漂着・海底ごみは地球規模の環境問題として近年、世界的に高い注目を集めています。海洋ごみの種類は、ビニール、ペットボトルなどのプラスチックのほか、飲料缶、ガラス、医療系廃棄物、流木などさまざまです。これら海洋ごみは、海岸の景観悪化を招くだけでなく、海洋汚染につながります。特に、最近注目されているマイクロプラスチックと呼ばれる大きさが5mm以下のプラスチックは、海洋生物の体内に取り込まれ、海洋生物が命の危機にさらされています。この問題は、プラスチックの不法投棄を無くすことや、プラスチックそのものを削減するなど、身近な活動は解決の一歩となります。

わたしたちも、廃棄物を扱う企業として、海洋保全活動にも取り組んでいます。

①海ごみゼロウィークへの参加

「海ごみゼロ2020」とは、海洋ごみ削減に向け、日本財団と環境省が共同で清掃を推進している活動です。5月30日（ごみゼロの日）～6月8日（世界海洋デー）を「海ごみゼロウィーク」と定め、青いアイテムをつけて全国で一斉清掃活動を実施していたため、当社もこれに協賛し、会社周辺のごみ拾い活動の際、青いビニール袋を使用して清掃活動を実施しました。この活動は、島根県の「エコ活動実践事業所」の活動紹介として島根県のホームページに掲載されています。



②海岸漂着廃棄物の処理

島根県は日本海に面しており、漂着ごみが流れ着くこともあります。湾岸管理者より委託を受けた企業より依頼を受け、適正に廃棄物の処理を行っています。2019年4月から2020年3月に受けた実績です。

産業廃棄物 (当社にて処分)	21,280kg
一般廃棄物 (行政処分場にて処分)	3,920kg



(2) 美化活動

2000年より、毎月松江本社周辺の清掃活動を行っております。周辺にはラムサール条約の登録を受けている中海があるにもかかわらず、付近の道路や草むらには空缶や弁当がらなど不法投棄ごみがたくさん落ちています。今後も清掃活動を継続し、地域の環境保全に努めてまいります。

【活動実績】

活動回数	合計参加人数	回収ごみ量
12回	131人	33.49kg



(3) 不法投棄パトロール

島根県では、年2回、島根県、島根県警、一般社団法人しまね産業資源循環協会、不法投棄監視モニターなど関係者が連携し、県下一斉合同パトロールを実施しています。このパトロールは、環境省が設定した「全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5月30日から6月5日）」に合わせて行われています。当社は、しまね産業資源循環協会の会員として、本パトロールに参加しました。

松江市宍道町では、不法投棄された廃棄物は、テレビ・タイヤ・発泡スチロール・自転車・トタンなど20㎡ありました。また防犯登録のシールが削られた盗難自転車のようなものもありました。

安来市の農道では、不法投棄された廃棄物の量は全部で1.5㎡でした。テレビ、デッキ、タイヤ、空缶、空瓶などの生活ごみも多くありました。

これらの不法投棄廃棄物は、回収作業まで行いました。



(4) 環境教育

2000年より、地域の小学校へ出前授業を行っています。内容は、「ごみの分別方法とごみのゆくえ」と題し、家庭から出るごみのサンプルを持参して分別方法を説明します。その後、そのごみがどのように処理されるのか、リサイクルされるのかを説明します。併せて「ごみ収集車（パッカー車）のしくみ」と題し、学校にごみ収集車を持って行き、車両の仕組みを説明する他、実際にごみの投入体験もしてもらいます。運転席にも乗ることができるので、子供たちに人気です。

「どの位のステーションの数を収集しているのか？」

「自分達でゴミを減らすにはどういったことができるのか？」

「パッカー車の中はどうなっているのか？」

など、積極的に質問をしてくれました。

2019年6月 5日	出雲郷小学校	2クラス	40名
2019年9月12日	竹矢小学校	2クラス	48名
2019年9月12日	母衣小学校	3クラス	77名
2019年9月26日	意東小学校		40名



(6) SDGs勉強会・工場見学の受入

地元の島根県松江市南高等学校普通科の1年生では、総合的な探究の時間でSDGsをきっかけにして、地域課題の解決を目指す「探究学習」に取り組むという授業があり、12名の生徒さんが当社に本社されました。廃棄物処理という環境や地域に直結した事業とSDGsを結び付け、さまざまなことを学んでおられました。

また、当社では、工場見学を通じて環境意識の向上を図っていききたいという思いから、学校だけでなく、廃棄物に関する研修を希望される様々な団体様の工場見学も積極的に受け入れております。



工場見学に来ていただいた
生徒さんからいただいたお手紙

(5) 廃棄物処理状況確認見学会の開催

2010年廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正により、事業者が産業廃棄物の運搬・処分を委託する場合には、その処理の状況に関する確認を行い、最終処分終了までの一連の処理工程における処理が適正に行われるために必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととなりました。これを受け、排出事業者の皆様へ処理委託状況を確認いただける機会として廃棄物処理状況確認見学会を毎年開催しています。廃棄物処理の委託先である当社を排出事業者に見ていただき、処理の流れ等をご理解いただく機会としておりますが、当社としてもお客様から直接ご意見をいただく貴重な機会となっております。

見学につきましては、随時受付をしておりますので、お気軽にご連絡ください。

<参加者> 2019年7月17日：21名 18日：23名 19日：22名



2019年度工場見学受入れ実績

- 2019年 6月 26日：立正大学 浜南高等学校
- 2019年 7月 3日：島根県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会様
- 2019年 7月 9日：出雲市環境保全連合会 逢坂支部様
- 2019年 9月 13日：島根県立松江農林高等学校様
- 2019年 10月 4日：産業技術推進会議 中国地域部会・
四国地域部会 合同環境・エネルギー分科会様
- 2019年 12月 11日：出雲市立第二中学校様

アースサポート株式会社

「CSRレポート2020」を

お読みいただきありがとうございました。

「CSRレポート2020」の作成にあたり、関係者の皆様方にご助力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。わたしたちは、地域社会、お客様および社員など、当社を取り巻くさまざまな環境への取り組みを実施するとともに、その情報公開に努めています。地域の皆様をはじめ、一般の方にもわかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、皆様のご意見を参考にして今後もより良い報告書づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

当社のホームページ上にアンケートがございますので、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

URL <https://www.earth-support.jp/company/csr/>

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、
QUOカード500円分をプレゼントいたします。



過去の環境報告書・CSR報告書・CSRレポートを
ホームページで公開しています





Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

本社 / 〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2
TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892

東京本部 / 〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目4-14
未来環境創造ビル3F
TEL 03-6441-2900 FAX 03-6441-2920

<http://www.earth-support.jp>



ISO 14001
JQA-EM1465
本社
廃棄物・リサイクル



アースサポート株式会社は
島根スサノオマジックを応援しています。